

用途

天然成分だけで造られた白色の室内用塗り壁材です。
 ほぼ無臭で塗りやすい塗料のため DIY でも人気です。
 専用のプライマーを使用することにより壁紙のうえにも塗布することが可能です。
 ≪ホルムアルデヒド放散等級：最高安全基準 F☆☆☆☆≫

手順



1 「準備」

下地の種類や状況に応じて適切な下地処理を行います。(裏面参照)
 事前に商品をよくかき混ぜてから作業を開始してください。



2 「1 回目の塗装」

塗装面の外周部分をハケで丁寧に塗装した後、幅が広めの中毛ローラーを使い縦と横方向へクロスするように、規定量(0.11L/m²)を塗装面全体へしっかり塗っていきます。

3 「2 回目の塗装」

1 度目の塗装から 24 時間経過後、同じ要領で 2 度目の塗装を行い、乾燥したら作業完了です。最終レイヤーの塗装では縦か横一方向に限定し、端から端まで規則正しく塗ると美しく仕上がります。



アウロTV

右の QR コードより Nr.321 の使い方動画を観ることができます。



(you tube)

カラーチャート

Nr.330 を混ぜることで着色が可能です。右の QR コードよりカラーチャートを見ることができます。



(WEB サイト)

使用方法 + 注意事項

- ・推奨施工環境は 10℃～30℃、湿度 40～70% です。(冬場は室内および製品を数時間、規定温度以上に暖めてください。)
- ・必要に応じてマスキング作業を行ってください。
- ・使用前によくかき混ぜてからご使用ください。内容成分が確実に混ざり合っていないと色ムラや定着不良の原因になります。
- ・製品が変質を起こさないよう他の製品や物質を混合しないでください。
- ・施工前に必ずテスト施工を行い、製品の特性を理解し、異常のないことを確認してください。
- ・**室内専用の製品です。室内でも水や水蒸気の影響を受ける場所には使えません**
 (水気のある場所には Nr.344 ハイグレード天然本漆喰をご検討ください)。
- ・全工程で、塗装面を湿気や直射日光、埃に晒さないでください。また製品は直射日光の当たるところに放置しないでください。
- ・容器内で乾燥した塗料の欠片が製品(液体)へ混入することがあります。必要に応じて網などでこしてから塗装してください。
- ・塗装作業を行う際は、眼や皮膚を保護してください。
- ・本製品は基本的に原液でご使用ください。下塗り時のみ水で最大 10% まで希釈可能です。
- ・**塗布量の目安は、1 回の塗装で 0.11 リットル / m² (1 リットル / 9 m²) です。**
- ・**塗装回数**の目安は 2 回です。下地が透ける場合は 3 回目の塗装を行ってください。
- ・**乾燥時間**は 4～6 時間です。(重ね塗りする際も同様・低温または高湿度の場合は乾燥時間が延びます)
- ・乾燥を促すため、作業中および乾燥工程では、じゅうぶん換気を行ってください。(強制乾燥禁止)
- ・下地の処理や調整には知識や技術、経験が必要です。状況に応じて専門業者の指導を仰ぐなどしてからご使用ください。
- ・塗装後の壁面に水分や油分を与えますと変色や剥がれにつながる恐れがあります。
- ・塗装用具は使用后すぐに新聞紙やウエス等で液体をできるだけ拭き取り、中性洗剤を使って水洗いしてください。
- ・Nr.330 を混ぜることにより着色が可能です。
- ・塗装面にテープ類、粘着物は使用しないでください。塗装が剥がれる場合があります。
- ・保管は確実に密栓し子供や認知症の方などの手の届かない冷暗所にて。(作業中も要注意)
- ・品質保持期限は未開封にて購入から 2 年間です。

下地調整

「下地条件」

- ・下地は、清潔且つ乾燥した状態で、化学的に中性で安定しており、吸水性がある状態でなければなりません。土、砂、油脂、皮脂、粘着物、レタンス、パテの削りカス、その他汚れ等が付着していないことを入念に確認してください。
- ・塗装面が強いアルカリ性を示す場合は塗装後にチョーキングを起こす恐れがあるため、中性になるまで時間を置かずか中性化してください。
- ・強度のないもろい壁面、やわらかい壁面（布クロスなど）には塗布できません。下地のヨレ、たわみ、変形等は壁面のヒビ割れや剥がれを引き起こします。
- ・塗装面にキズ、穴、継ぎ目、ひび割れ、凹凸等がある場合は、必要に応じて適切な材料で補修してください。
- ・意図しない部分にペイント材が付着した場合は、できるだけ早めに水で洗い流すか濡れたタオルで拭き取ってください。
- ・本製品は木材へ塗布することはできません。

「下地材別プライマー」

| プライマー 下地材 | Nr.301  | Nr.329  | Nr.505  |
|------------------|--|---|--|
| プラスター（石膏） ボード | ○ | | |
| レンガ | ○ | | |
| 砂壁 | ○ 砂の粒子が細かい | ○ 砂の粒子が荒い | |
| 壁紙（クロス） | | | ○ |
| コンクリート | | | ○ |
| その他 | | | ○ |

*壁紙の上に塗布する場合

- ・壁紙の上に塗布する場合は、Nr.505(グリップコート)を下塗りしてください。また既存壁紙の定着力（特に継ぎ目・角・隅）をよく確認し、必要に応じて補強してください。塗装下地用壁紙は直接塗布が可能です。

*その他の下地

- ・下地素材が不明な場合、および吸水性のない既存塗装面（ウレタン塗装面、ラテックス塗料面、ラッカー塗装面など）の上にはNr.505を下塗りしてください。
- ・下地に様々な材料が入り組んでいる場合（例：石膏ボード＋壁紙、石膏ボード＋既存塗装、クロス＋コンクリートなど）にはNr.505を下塗りしてください。